

多木化学株式会社

得意な技術・特色のある技術

多木化学の歴史は明治 18 年（1885 年）、わが国初の人造肥料の開発に成功したことに始まります。

1960 年代からは水処理薬剤をはじめとする工業薬品事業へも領域を拡大し、さらに近年は機能性材料やバイオテクノロジー分野にも進出。今日ではアグリ分野、化学薬品分野、機能性材料、バイオなどの新規分野において、事業を展開しユーザーから厚い信頼を得ています。

製品 PR

【ポリ塩化アルミニウム】

水処理用凝集剤 PAC250A(液体タイプ) PAC250AD(粉末タイプ)

多木化学は 1955 年、初めてポリ塩化アルミニウムを開発して以来、浄水・排水処理の使用において世界中の注目を集めました。

PAC250A は浄水・排水において優れた除濁性能（清澄作用）をもった凝集剤です。

PAC 中のアルミ成分は荷電中和力が高く、少量で多くのパフォーマンス（スラッジの減容、pH 調整の省力、濾過継続の延長、処理水質の向上、低水温状況下での最適化）を示します。

窓口： 化学品営業部

TEL: 079-437-0654

FAX: 079-437-8685

E-mail: maemoto@takichem.co.jp

URL: <http://www.takichem.co.jp>